



## 2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月10日  
東・名

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所  
コード番号 7975 URL <http://www.lihit-lab.com>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 宏和  
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)早川 大介 (TEL)06(6946)2558  
四半期報告書提出予定日 2020年7月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	2,466	△17.4	210	△19.0	201	△20.9	150	△19.1
2020年2月期第1四半期	2,986	△0.1	259	1.0	254	△4.7	186	27.0

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 142百万円(98.5%) 2020年2月期第1四半期 71百万円(5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	88.70	—
2020年2月期第1四半期	109.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	13,219	9,456	71.5
2020年2月期	13,192	9,398	71.2

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 9,456百万円 2020年2月期 9,398百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	0.1	300	12.9	300	22.7	200	22.7	117.86
通期	10,000	1.9	550	11.5	550	11.5	400	18.6	235.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期1Q	1,907,850株	2020年2月期	1,907,850株
2021年2月期1Q	211,001株	2020年2月期	210,957株
2021年2月期1Q	1,696,861株	2020年2月期1Q	1,697,044株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年5月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内外での外出制限や企業への休業要請等を背景に、輸出やインバウンド需要が大きく落ち込むとともに、企業業績や雇用情勢も急速に悪化しております。国内景気に関しては緊急事態宣言の解除を機に最悪期は脱しつつあるものの、世界経済は未だ回復の見通しが立たない状況にあり、ウイルス感染の第2波・第3波が到来すれば更なる景気下振れのリスクも懸念されます。

当業界におきましては、女性や若年層を中心として個人需要が多様化していく一方で、企業のデジタル化の急速な進展に伴い法人需要も大きく変化しつつあり、従来型の事務用品の枠にとらわれない広範な商品構成への拡充が強まっていく状況にあります。また、量販店・通販・海外マーケットへの販売チャネルのシフトも一段と進んでいくものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、お客様に喜ばれる製品・機能性やデザイン性に優れた魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、国産帆布を使用した「HINEMO(ヒネモ)シリーズ」や軽やかではじけるイメージの「CUBE FIZZ(キューブフィズ)シリーズ」が新たにラインナップされたほか、ワーキングシーンをスマートにサポートする「SMART FIT ALTNA(スマートフィットオルトナ)シリーズ」が新アイテムを拡充させて売上を伸ばしました。

また既存製品では、机収納シリーズの「机上台」、「ルーパーファイル」、「カラークリヤーホルダー」等が引き続きご好評をいただきました。

しかしながら事務用品等事業につきましては、このような新製品の積極的な投入が売上に貢献したものの、コロナ禍の影響による既製品の落ち込みをカバーし切れず、前年同期比減収となりました。

一方で不動産賃貸事業につきましては、テナントの稼働率が引き続き良好な水準で推移するとともに、賃料単価の確保にも努めたことにより、前年同期比増収となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,466百万円(前年同期比17.4%減)となりました。

利益面につきましては、売上の減少に加えて原材料や外注製品の仕入価格が上昇したことにより、営業利益は210百万円(前年同期比19.0%減)、経常利益は201百万円(前年同期比20.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は150百万円(前年同期比19.1%減)となりました。

(当社グループの主要な事業であります事務用品等事業は、季節的要因から第1四半期連結結果計期間が売上高、利益額ともに大きくなる傾向にあります。)

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	755	30.6	△20.5
バインダー・クリヤーブック	583	23.7	△7.1
収 納 整 理 用 品	817	33.2	△16.4
そ の 他 事 務 用 品	194	7.9	△39.6
事 務 用 品 等 事 業	2,351	95.4	△18.3
不 動 産 賃 貸 事 業	114	4.6	6.5
合 計	2,466	100.0	△17.4

## 【事務用品等事業】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

## &lt;ファイル部門&gt;

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は755百万円(前年同期比20.5%減)となりました。

## &lt;バインダー・クリヤーブック部門&gt;

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は583百万円(前年同期比7.1%減)となりました。

## &lt;収納整理用品部門&gt;

ペンケース、机上台、クリヤーケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は817百万円(前年同期比16.4%減)となりました。

<その他事務用品部門>

スライドカッター、コンパクトホッチキス、オートパンチ、ペーパードリル、カルテフォルダー等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は194百万円（前年同期比39.6%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は2,351百万円（前年同期比18.3%減）となり、営業利益は167百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業は、本社ビルのテナント稼働率が引き続き良好な水準で推移したこと等により、売上高は114百万円（前年同期比6.5%増）となり、営業利益は42百万円（前年同期比31.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、13,219百万円となりました。これは主として現金及び預金、電子記録債権等が増加したことによるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、3,763百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金、借入金等が減少したことによるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ57百万円増加し、9,456百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。その結果、自己資本比率は71.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期通期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、2020年4月10日発表時より変更はいたしておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,679,302	1,963,993
受取手形及び売掛金	1,706,734	1,467,632
電子記録債権	322,127	479,167
商品及び製品	1,742,828	1,604,274
仕掛品	126,860	110,734
原材料及び貯蔵品	558,712	596,755
その他	79,838	63,785
貸倒引当金	△4,124	△3,887
流動資産合計	6,212,279	6,282,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,485,580	2,453,641
機械装置及び運搬具(純額)	257,573	238,910
土地	2,925,180	2,925,180
その他(純額)	89,655	109,906
有形固定資産合計	5,757,989	5,727,639
無形固定資産	18,051	16,564
投資その他の資産		
投資有価証券	814,242	805,686
その他	396,441	392,991
貸倒引当金	△6,075	△5,712
投資その他の資産合計	1,204,608	1,192,965
固定資産合計	6,980,650	6,937,170
資産合計	13,192,929	13,219,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	327,282	259,026
電子記録債務	279,617	389,040
短期借入金	610,000	554,000
未払法人税等	73,737	55,982
賞与引当金	135,248	126,016
役員賞与引当金	14,450	19,460
その他	399,457	480,553
流動負債合計	1,839,793	1,884,078
固定負債		
長期借入金	530,000	502,000
繰延税金負債	90,451	88,009
役員退職慰労引当金	185,600	175,527
退職給付に係る負債	871,122	826,360
その他	277,626	287,445
固定負債合計	1,954,799	1,879,342
負債合計	3,794,593	3,763,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,178,416	6,244,082
自己株式	△400,868	△400,929
株主資本合計	9,019,409	9,085,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,342	297,994
繰延ヘッジ損益	21,503	17,068
為替換算調整勘定	103,562	102,675
退職給付に係る調整累計額	△50,482	△46,548
その他の包括利益累計額合計	378,926	371,190
純資産合計	9,398,336	9,456,204
負債純資産合計	13,192,929	13,219,626

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	2,986,887	2,466,027
売上原価	1,966,927	1,623,954
売上総利益	1,019,959	842,072
販売費及び一般管理費	760,367	631,880
営業利益	259,592	210,192
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	3,331	3,779
受取保険金	1,542	2,326
雑収入	3,026	1,613
営業外収益合計	7,907	7,726
営業外費用		
支払利息	1,587	1,736
支払手数料	1,685	1,621
為替差損	7,095	12,584
雑損失	3,109	972
営業外費用合計	13,478	16,915
経常利益	254,021	201,003
特別損失		
固定資産廃棄損	588	204
特別損失合計	588	204
税金等調整前四半期純利益	253,432	200,799
法人税等	67,417	50,288
四半期純利益	186,014	150,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,014	150,510

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	186,014	150,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112,110	△6,347
繰延ヘッジ損益	△13,147	△4,435
為替換算調整勘定	7,028	△886
退職給付に係る調整額	4,128	3,933
その他の包括利益合計	△114,100	△7,735
四半期包括利益	71,913	142,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,913	142,774
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響について)

新型コロナウイルスの感染拡大により、企業の事業活動や個人の消費行動が委縮することで一時的な需要低下が見込まれております。固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の判定・評価にあたり、当社グループの新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響については、夏以降に向けて感染拡大が収束した後、需要が徐々に正常化するとの仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、収束が遅延し、影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,879,450	107,437	2,986,887	—	2,986,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	479	479	△479	—
計	2,879,450	107,916	2,987,366	△479	2,986,887
セグメント利益	226,892	32,700	259,592	—	259,592

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,351,568	114,458	2,466,027	—	2,466,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	498	498	△498	—
計	2,351,568	114,957	2,466,525	△498	2,466,027
セグメント利益	167,351	42,840	210,192	—	210,192

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。